



平成 25 年 11 月 5 日

各 位

会社名 日本ケミコン株式会社
代表者名 代表取締役社長 内山 郁夫
(コード番号 6997 東証第1部)
問合せ先 取締役 白石 修一
(TEL. 03-5436-7711)

為替差損の計上及び平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結業績 予想数値と実績値の差異に関するお知らせ

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）におきまして、為替差損の計上及び平成 25 年 5 月 13 日に公表した平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 為替差損の計上

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、為替差損 596 百万円を営業外費用に計上することと致しました。この為替差損は、平成 26 年 3 月期第 2 四半期における為替変動の影響によるものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動致します。

2. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値と実績値の差異

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,500	2,200	1,300	900	6 32
実績値(B)	54,680	2,428	1,890	1,409	9 90
増減額(B)-(A)	3,180	228	590	509	—
増減率(%)	6.2	10.4	45.4	56.6	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	45,246	△4,017	△5,141	△5,714	△40 15

(差異の理由)

第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値の差異につきましては、パソコンやデジタル家電等が低調に推移した一方、エアコンや太陽光発電設備等は堅調に推移し、売上高は予想を上回る結果となり、利益につきましても売上高の増加による操業度益に加え、工場における生産性改善活動の効果等もあり、予想を上回る結果となりました。

以 上